

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ①総合型クラブ主催文化・スポーツ教室を開催！
- ②プレーパーク開催！／二十歳のつどい実行委員募集
- ③いけばな親子教室／5月定例教育委員会／学校プール利用のお知らせ
- ④軽舞発掘整理事務所事業紹介
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動紹介

子どもから大人までで楽しめる 総合型クラブ主催文化・スポーツ教室を開催しています！

今年4月に発足した厚真町総合型地域文化・スポーツクラブでは、子どもから大人、初心者から経験者まで楽しめる文化活動・スポーツの体験教室を定期的に実施しています。今年度は文化教室として百人一首体験教室や日本舞踊体験教室を、スポーツ教室として柔道体験教室、リズム体操体験教室、卓球教室等を開催してきました。年間を通して様々なプログラムを開催しており、様々な文化活動・スポーツに触れるきっかけを作り、活動を通して参加者同士の交流が深まるような教室運営を目指しています。



4月に行われた百人一首教室



日本舞踊体験教室の一コマ



柔道体験教室で受け身をとる参加者



運動量豊富なリズム体操体験教室

～今後の教室開催予定～

総合型クラブでは年間を通して文化教室・スポーツ教室を開催しています。プログラムの詳細についてはInstagram、公式ホームページ、町内掲示等でご確認ください。年齢やレベルを問わず楽しめる教室も多く開催していますので、ぜひご自身の興味に合わせてご参加いただければと思います。

教室の詳細はこちらからご確認ください！



Instagram



公式ホームページ

夏の教室案内

●定期教室



卓球教室を毎週開催しています。ラケットの貸し出しも行っているため未経験者でも気軽に参加していただけます。会場はスポーツセンターと厚南会館の日があるため確認の上ご参加ください。

●特別教室

7月、8月にかけてサーフィン教室を開催します。また、7月24日（金）18時30分～サッカー大会、7月31日（金）9：00～・11：00～パン作り体験教室を実施します。詳細はSNS、HPでご確認ください。

プレーパーク！始まりました♪

今年度もあつまでプレーパークが始まりました。1回目のプレーパークが5月30日に上厚真神社で、また翌週6月6日には新町公園で実施されました。嬉しいことに2回合わせて80名近くの方々が来場し、各々が自由な遊びをしていました。

改めてプレーパークがどんなものなのか説明させていただくと、「自由」な遊び場であり、遊びに来た一人ひとりの「やってみたい！」を大切にする遊び場です。決められた遊具やプログラムを一方的に提供するのではなく、焚火、長縄跳び、巨大シャボン、自然素材を使ったアクセサリーづくり、馬とのふれあいなど、自然や地域資源を活かしながら、参加者自身が遊びを選び、試し、工夫する時間をつくります。今年は残り6回を予定していますので、ぜひとも遊びに来てください。

2026年度 あつまでプレーパーク開催日程予定

※各回の時間や変更等についてはInstagramにてお伝えします。

- 第3回： 7月25日（土） @上厚真神社
- 第4回： 8月 8日（土） @新町公園
- 第5回： 9月26日（土） @上厚真中央公園
- 第6回： 10月17日（土） @新町公園
- 第7回： 11月14日（土） @上厚真神社
- 第8回： 12月26日（土） @表町公園



Instagram



【お問い合わせ先】

厚真町教育委員会社会教育グループ

☎ 27-2495

✉ shakai@town.atsuma.lg.jp

二十歳のつどい実行委員募集

今年度も下記のとおり、20歳になる方を対象とした「令和8年度厚真町第5回二十歳のつどい」を開催します。開催に向けて、当日の運営の企画立案等に携わる実行委員もあわせて募集します。

【令和8年度二十歳のつどい】

日時 令和9年1月10日（日）午後
※今年度より午後開催となります！

場所 厚真町総合福祉センター予定

対象 平成18年4月2日～平成19年4月1日までに生まれ、本人または両親が町内に在住している方（町外へ転出した方も参加可能）

右記のとおり、対象者自らが運営に携わり、一生に一度の節目をより充実したものにするため、実行委員会を募集します。上記の対象者で興味がある方は、ホームページまたは右記QRコードから申込み、問い合わせをお願いします。

一生に一度の式典を自分たちで作り上げませんか？

令和8年度
二十歳のつどい
実行委員大募集！

【対象者】
平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの方
本人または両親が町内に在住している方
(町外へ転出した方も参加可能)

【申込方法】
下記問合せ先へ電話申込みまたは
右記QRコードの申し込みフォームより
申込みください。
※7月17日（金）締切

【活動内容】
・自ら当事者として企画・立案していきます
・二十歳のつどい実施までに年間3～4回程度
実施予定です。
※オンラインでの参加も可能です

【記念品】
何がいいかな？

【素敵な式典のアイデアを】
考えよう！

【問合せ先】
厚真町教育委員会 社会教育グループ
〒059-1601 厚真町京町37
TEL:0145-27-2495
MAIL:shakai@atsuma.town.lg.jp

令和8年度文化庁伝統文化親子教室事業

いけばな親子教室



今年度も「いけばな親子教室」を開催します。

日本の伝統文化である「いけばな」を通じて、楽しくお花とふれあってみませんか？

◆主 催：厚真地区伝統文化いけばな親子教室 ◆後援：厚真町教育委員会

◆開催日：7月5日（日）・8月29日（土）午前10時～11時 全6回予定

※日程の詳細は、図書室（総合ケアセンターゆくり）内の案内チラシをご覧ください。

◆場 所：厚真町総合福祉センター2階

◆材料費：1回1,000円（花代実費・税込）

◆持ち物：タオル（ふきん）※ハサミや花器は用意します

◆対象者：未就学児～中学生及び保護者

◆募 集：15名 随時募集しています。

◆申込・問合せ：電話もしくは右記QRコードから申込み・お問合せください。

指導：小原流苦小牧支部厚真地区講師

上田 ☎090-5077-8279

長谷 ☎090-3397-7745

お花は
持ち帰りできます



LINE
アカウント

5月定例教育委員会

5月27日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

5月校長・教頭会議について／第1回中央地区学校運営協議会について／第1回厚南地区学校運営協議会について／第1回厚真町いじめ問題対策連絡協議会について／令和8年度教育委員会訪問／学校給食センター運営委員会について／「あつま田舎まつりパレード盛り上げ隊」の実施について／各種検定（漢字検定・数学検定）の実施について／交流できる図書イベント（第1回）／軽舞整理事務所春の特別開放日・走らせる鉄道模型の世界／戦争遺跡見学会／第1期英会話教室

◆その他

第61回北海道市町村職員教育委員研修会について

★問合せ

教育委員会 学校教育グループ

☎27-2494

学校プール利用のお知らせ

次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。お気軽にご利用ください。

◆期間 7月16日（木）～9月7日（月）

※毎週日曜日、8月19日以降の毎週水曜日、8月10日（月）～8月15日（土）はプール閉鎖日のため利用できません。

◆時間 ○平日（夏休み除く）

14時00分～16時30分

○土日祝日・夏休み期間

10時00分～16時30分

※昼休みのため、12時00分から

13時00分の間は利用できません。

★問合せ 教育委員会 学校教育グループ

☎27-2494

皆様のご利用を

お待ちしております！



大好評! 夏の「まが玉づくり」のお知らせ



子どもから大人まで大好評の事業「まが玉づくり」を行います。
縄文時代から受け継がれている美意識の1つ「まが玉」。北海道産の天然石を使った世界に1つだけのオリジナルのペンダントをつくってみませんか。まが玉づくりと合わせて軽舞遺跡調査整理事務所の見学もできますので、ぜひ参加ください。

- ◆日 時 7月12日(日) 10時~12時
- ◆場 所 軽舞遺跡調査整理事務所(旧軽舞小学校)
- ◆定 員 先着20人程度(小学生以上)
※ 小学3年生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無料
- ◆申込締切 7月7日(火) 17時まで

道内産天然石のまが玉
作りは厚真町だけ!!



紙やすりで角を削って磨くと完成です!

申込・問合せ 軽舞遺跡調査整理事務所

☎ 0145-28-2733 (平日のみ)

✉ shakai@town.atsuma.lg.jp

記憶をたどる 厚真川上流ダム周辺見学バスツアー

普段訪れる機会の少ない厚真ダムや厚幌ダムのある幌内地区はかつて田舎まつりが開催され、小中学校もありました。現在では厚真ダムから先の「北進平取線」の開通によって、縄文人のキラキラ土器の道をたどって穂別へのアクセスが簡単になりました。

★今年4月に「むかわ町穂別恐竜博物館」が新規オープンしました。今回はその博物館周辺で昼休憩を予定しております。

★かつてにぎわいがあつた厚真川上流周辺を学芸員の解説付で訪れてみませんか?

見学予定場所

1. 上幌内小中学校跡地
2. 昔の田舎まつり会場
3. 厚真ダム
4. 穂別博物館周辺
5. 厚幌ダム
6. 厚幌ダム遺跡群見学
7. 厚幌ダム右岸小公園

- ◆日 時 7月26日(日) 9時~15時ごろ
- ◆集合場所 厚南会館 9時00分
厚真町役場前 9時20分
- ◆定 員 先着20名程度
※小学生以下は保護者同伴
- ◆参加費 無 料 ※お昼持参!
- ◆申込締切 7月21日(火) 17時まで

申込・問合せ 軽舞遺跡調査整理事務所

☎ 0145-28-2733 (平日のみ)

✉ shakai@town.atsuma.lg.jp



昨年の見学会で昔の田舎まつり(ニジマス釣り)会場で説明を聞く参加者

予告

今年も二風谷アイヌ文化博物館見学ツアー開催します!

日にち: 8月9日(日) 9:00~14:00(予定)

学芸員と大型バスで平取町のアイヌ文化ツアーを行う予定です。7月中旬から町のホームページやポスターなどで詳細をお知らせいたします。ぜひご予約を空けてお待ちください!

図書室だより

見て楽しい図鑑が届きました

新刊コーナーに
あるよ

「わかっていないこと図鑑 1・2」

(大日本図書)

動物の鳴き声や、光合成のしくみ、雷が落ちることなどの自然科学について学校で習うけれども、実際は解明途中ということがあるそうです。

この本では、生き物や気象、宇宙についてわかっていることと、その先はわかっていないことを明らかにし、研究の第一人者が最先端の研究について紹介し、どんな期待が寄せられていて、どのような役に立ちそうなのかを解説しています。

「モノの運び方ずかん 1・2」

(あすなろ書房)

シロイルカの頭のような形をした飛行機や、タイヤが56個もついた車は何を運ぶのかな？工事中のビルの上にあるクレーン車はどうやって上まで運ばれたのかな？というような運ぶことに注目した図鑑です。石垣の工事のため、青森県の弘前城の天守閣を人間が引っ張って移動させた様子や、別の動物園へ引っ越すキリンのユウヒちゃんの様子も紹介されています。

厚南会館図書コーナーをご利用ください！

厚南会館でも1階と2階合わせて約5,500冊の本を所蔵しています。貸出機は1階入口正面にあります。返却は厚南会館入口前の返却ボックス、貸出機横のかごにいらしてください。厚南会館で借りて、ゆくり図書室で返却することもできます。利用登録や予約などは、恐れ入りますがゆくり図書室カウンターまでお越しください。

図書コーナーの場所：1階 自販機横、パントリー前

2階 厚南会館入り口横の階段を上った右側の部屋

※厚南会館を使う時は、他の人の迷惑になる行為はしないよう気を付けましょう

7月の休館日(ゆくり図書室)

色が付いた日は休館日です

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

■図書室開館時間

9時00分～17時00分(月・水・金・土)

9時00分～19時00分(火・木)

※日曜日、祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分(月～日)

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

あそびに
きてね！

7月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは
23日(木) 10時00分から10時30分まで
場所：厚真子育て支援センターです。



☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

駆け足でやってきた春もひと休みでしょうか。田んぼに水が入り、ライラックの花が咲くころ、一時的に気温が下がる『リラ冷え』は、北海道から生まれた季語だと知ってからというもの、夏が始まる前のひんやりとした空気にも愛着を感じるようになりました。日中に気温が上がっても、朝晩は涼しく、小さな電気ストーブをしまうか否か、どのタイミングで扇風機を出すか、半袖の上に羽織る上着の厚さの調整など、自分の体感と相談する日々が続いています。一気に夏の暑さがやってくると体に堪えるので、穏やかに気温が上がることを願うばかりですが、こればかりは天気の様のご機嫌次第ですね。

子どもたちにとって上期のビッグイベントである運動会も無事に終了し、夏休みまで残り1ヵ月となりました。子ども教室にやってくる子どもたちは、運動会の練習をこなしたあとでも元気いっぱいですが、今年はゴールデンウィークが明けてから体調を崩す子が多かったように見受けました。毎月おこなっているプログラム会議では、学校行事や子どもたちの様子を加味して、翌月の活動内容を決めています。6月の前半は子どもたちの体力に余裕を持たせられるよう、大きな模造紙いっぱいに絵を描くラクガキ大会や、子どもから高齢者までが簡単に楽しめるレクリエーションゲーム『トリコロキューブ』、夏に向けてイラストやシールで飾りつけるうちわづくりなど、のんびりと自分のペースで楽しめる活動を中心にプログラムを実施しました。自由時間にはドッチボールやオニゴッコといった体を使って遊ぶ子もいれば、カードゲームなど体力を温存できる遊びをする子もいて、子どもたちも自分のコンディションに合わせた遊びを選んでいるようでした。

5月31日(日)に今年度最初の特別教室を実施しました。平日の活動に加えて、より深く厚真町の地域資源である自然や人、産業、文化に触れ、自分たちが暮らすまちに関心を持てるような活動を特別教室として実施しています。今回は、環境保全林（豊沢）で出た間伐材等を利用し、世界にひとつのイスをつくるプログラムをおこないました。ノコギリやドリル、普段、あまり手にすることのない道具を使い、頭の中にあるイメージを形にすべく、子どももスタッフも一緒になって奮闘しました。木の皮をむくことができる削り馬という道具は子どもたちにも人気で、順番待ちをする姿も。林業家である永山尚貴さんにご協力をいただき、道具の使い方やパーツの組み合わせ方を教えてもらいました。時間内に完成した子も、完成には至らなかったけれど、やりたいことをやれた子も、ただただ森遊びを満喫した子も、それぞれ自分らしい楽しい時間を過ごすことができました。

